

令和6年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	老人福祉センター(7施設)
(2)施設概要	施設の設置目的 高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。
	①和楽荘 所在地 さいたま市緑区三室2458 開設年月 昭和45年12月 構 造 鉄筋コンクリート造 一部2階建 主な施設 健康相談室、機能回復訓練室、談話コーナー 軽食コーナー、集会室(読書コーナー含)、娯楽室 大広間、浴室、和室、水屋、茶室
	②寿楽荘 所在地 さいたま市桜区下大久保727-1 開設年月 昭和54年9月 構 造 鉄筋コンクリート造 2階建 主な施設 健康相談室、会議室、集会室、大広間 リフレッシュコーナー、浴室、談話室、茶室(図書室) 囲碁将棋コーナー
	③あずま荘 所在地 さいたま市大宮区東町2-105 開設年月 昭和58年4月 構 造 鉄骨造 2階建 主な施設 健康相談室、会議室、浴室、娯楽室、集会室
	④東楽園 所在地 さいたま市見沼区膝子1151-1 開設年月 昭和59年5月 構 造 鉄骨造 2階建 主な施設 健康相談室、機能回復訓練室、会議室、集会室、 浴室、教養娯楽室、図書室
	⑤しもか荘 所在地 さいたま市北区日進町1-800-105 開設年月 平成5年7月 構 造 鉄筋コンクリート造 2階建 主な施設 和室、健康相談室、リラックスルーム、談話コーナー 浴室、茶室
	⑥いこい荘 所在地 さいたま市中央区下落合5-11-12 開設年月 昭和47年11月 構 造 鉄筋コンクリート造 3階建 主な施設 健康相談室、機能回復訓練室、談話コーナー 浴室、大広間、洋室、和室、広間

	⑦馬宮荘 所在地 さいたま市西区西遊馬533-1 開設年月 平成14年5月 構 造 鉄筋コンクリート造 3階建 (馬宮コミュニティセンター)の一部 主な施設 相談室、リフレッシュコーナー、ホール、教養娯楽室、大広間 浴室
(3) 指定管理者	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団
(4) 指定期間、指定管理料	①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日 ②指定管理料(直近3か年) 令和4年度 295,340千円 令和5年度 293,627千円 令和6年度 296,720千円
(5) 施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 175,816人(前年度172,494人) ◇業務実施状況 ・介護予防と健康づくりの促進 さいたま市の運動支援員による運動教室、百歳体操等を開催した。 ・生きがいづくりの支援 利用者一人ひとりが主体的に活動に取り組めるよう支援した。また、地域高齢者が孤独を感じることはないように居場所づくりを心掛けた。 ②維持管理業務の状況 ・安全管理の方針 サービス(業務)マニュアルを始め、各マニュアルに基づいた安全管理を実施した。 ・定期点検・安全チェック 設備を適切に把握するとともに、自主点検を定期的実施した。また、点検結果を詳細に記録し、異常を発見した際には、速やかな修繕を実施した。「年間維持計画」を作成し、自主点検及び専門業者による定期的な保守点検を実施し、指摘事項については迅速に対応した。 ③その他の業務 長期計画に基づき単年の重点取組項目を設定した。また、重点取組項目を職員間で共有し、一丸となって目標の達成に向けて業務を遂行した。
(6) 収支状況	①収入 ・老人福祉事業収入 149千円 (前年度 152千円) ・指定管理料 296,720千円 (前年度294,433千円) ・その他 573千円 (前年度 1,377千円) ・前期末支払資金残高取崩 33,656千円 (前年度 0円) ②支出 ・人件費 152,567千円 (前年度161,853千円) ・事務費 6,828千円 (前年度 7,279千円) ・施設管理費 104,467千円 (前年度103,975千円) ・事業費 8,334千円 (前年度 8,108千円) ・繰入金支出 59,246千円 (前年度 15,496千円) ・その他 1,729千円 (前年度 249千円)

(7) 利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等への対応	法人全体としては、さいたま市社会福祉事業団「みなさまの声」設置要項による投書箱の設置、サービス向上担当者会議による「福祉サービス利用者アンケート」の実施等によりご利用者からのご意見・ご要望を受け付ける機会を設けた。 施設としては、利用者懇談会を実施し、ご提案内容や利用者アンケートの内容についての回答を行った。各行事終了後はアンケートを行い、ご意見・ご要望については、次年度の各行事の検討に生かした。 具体的なお要望としては「もう少し利用者が楽しめる行事をしてほしい。」という意見をいただいたため、現在行っている「eスポーツ」や「スマホ教室」、「輪投げ大会」などの既存の行事を継続しつつ、新たな行事の開拓のため、「参加してみたいイベント」についての提案を募集を行った。
(8) その他	地域懇談会を実施し、地域の方々からのご意見をいただき、地域から求められる老人福祉センターとなるように改善に努めた。

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
サービスの標準化の実施	当法人が運営する老人福祉センター施設長・実務担当者による会議を月1回開催し、内外の情報の共有や交換を行いサービスの標準化に努めた。 利用率向上に向け、職員の専門性や資質向上のため研修の充実を図り、参集だけではなく、eラーニングを活用した研修を行った。また、より多くの方に老人福祉センターを知っていただけるよう、SNSを活用した施設PRを行った。
地域関係機関との連携	利用者の生活の質の向上のために地域包括支援センターを始め警察署・消防署等の公共機関との連携を図り、健康講話、交通安全講話、消防訓練・講話等を実施した。

3 評価

(1) 指定管理者による評価

- ①利用の公平性、市民サービスの向上、利用促進について、「みなさまの声」の投書箱を常設し、利用者からの意見を広く徴取するとともに、いただいた意見を運営に反映した。また、直接意見を伺う機会として利用者懇談会を開催し継続的に利用いただける施設になるように改善に努めた。
地域関係機関との連携においては安心した生活が送れるよう地域包括支援センター等との連携を図り講座や相談事業等を実施した。
- ②経費節減については、光熱水費の節約だけではなく保守管理等の業務委託において、法人内の複数施設での仕様の統一や入札、契約手続きの一元化を行い、効率的に管理をすることでコストの削減に取り組んだ。
- ③適切な管理運営の確保については指定管理者として市民から求められる「社会的要請」に対して市と協議を行い、誠実に対応した。また、年度ごとに事業計画・事業報告を行い、財務諸表や役員名簿などを当法人のホームページに掲載し、情報の開示を行った。
- ④利用者に安心・安全に施設を利用いただくため、職員教育に力を注いだ。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価 (B) ※A~D

1 項目別の評価

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・SNSを通じた施設PRの実施や、利用者の声に応じた新規事業の検討等、市民サービスの向上に努め、利用者数の増加に繋がっている点を評価した。また、利用者が地域で安心した生活が送れるよう、関係機関と連携した講座や相談事業を実施したことを評価した。

(2)「経費の削減」に対する評価

・光熱水費の節約のみでなく、保守管理などの業務委託の効率化によるコスト削減に努めている点を評価した。

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

・迅速な修繕を行い、利用者への影響を最小限にするよう努めている点や、利用者の安心安全のため、職員教育に注力している点を評価した。また、八潮市の道路陥没に伴う下水道使用自粛時には、迅速な対応により対象地域の方への浴場開放を行うことができた点を評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。